2026年９月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社ヒューマンクリエイションホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　　7361　　ＵＲＬ　https://hch-ja.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）富永　邦昭
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）河邉　貴善　　ＴＥＬ　03（5157）4100

定時株主総会開催予定日　2026年12月18日　　配当支払開始予定日　2026年12月21日
有価証券報告書提出予定日　2026年12月17日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	9,460	5.8	447	△42.7	436	△43.6	△116	―
2025年９月期	8,945	24.8	781	23.9	773	22.8	398	△1.4

（注）包括利益　2026年９月期　△116百万円（－%）　2025年９月期　448百万円（16.9%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	△37.63	―	△8.2	10.4	4.7
2025年９月期	125.96	125.91	28.1	20.5	8.7

（参考）持分法投資損益　2026年９月期　-百万円　2025年９月期　-百万円

（注１）当社は、2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後１株当たり当期純利益」を算定しております。

（注２）当連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（参考）EBITDA：営業利益＋減価償却費＋その他償却費＋利息費用＋のれん償却費

EBITDA　2026年９月期　676百万円　2025年９月期　953百万円

調整後EPS：調整後当期純利益（注）/期中平均株式数

（注）親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却

調整後EPS　2026年９月期　20円02銭　2025年９月期　168円23銭

（注）当社は、2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「調整後EPS」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	3,868	1,362	34.4	427.63
2025年９月期	4,495	1,530	33.5	486.86

（参考）自己資本　2026年９月期　1,331百万円　2025年９月期　1,505百万円

（注）当社は、2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり純資産」を算定しております。

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	△411	△215	△483	307
2025年９月期	1,029	△896	281	1,417

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	－	－	27.00	27.00	83	21.4	6.0
2026年９月期	－	－	－	45.00	45.00	140	－	10.0
2027年９月期（予想）				47.00	47.00		43.5	

（注）当社は、2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	16.3	470	4.9	450	3.2	337	―	108.00

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規　1社　（社名）株式会社ライフシールド、除外　-社　（社名）-

（注）当社は2026年６月26日開催の取締役会において、株式会社ライフシールドの株式を取得して子会社化することについて決議をし、2026年７月１日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	3,573,100株	2025年９月期	3,573,100株
②　期末自己株式数	2026年９月期	460,321株	2025年９月期	479,957株
③　期中平均株式数	2026年９月期	3,106,857株	2025年９月期	3,163,574株

（注）当社は、2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	1,154	8.3	495	13.0	465	10.7	399	33.5
2025年９月期	1,066	71.5	438	68.8	420	67.7	299	72.0

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	128.50	127.77
2025年９月期	94.55	94.51

（注）当社は、2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後１株当たり当期純利益」を算定しております。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	3,695	1,086	28.5	338.87
2025年９月期	3,272	737	21.8	230.66

（参考）自己資本　2026年９月期　1,054百万円　2025年９月期　713百万円

（注）当社は、2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり純資産」を算定しております。

＜個別業績の前期実績値との差異理由＞
　当社は当事業年度において、子会社からの経営管理料の増加、子会社からの受取配当金などがあったことにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、Ｐ．３「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 3
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）連結貸借対照表 …… 4
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 6
連結損益計算書 …… 6
連結包括利益計算書 …… 7
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 8
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（表示方法の変更に関する注記） …… 11
（セグメント情報等の注記） …… 11
（１株当たり情報の注記） …… 15
（重要な後発事象の注記） …… 16

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善及びインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、急激な為替変動、エネルギー価格の高騰、人件費や物流費等の上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの主要顧客である大手システム開発企業各社における受注環境は、デジタル化による業務プロセスの効率化や変革を目指すDX（デジタル・トランスフォーメーション）需要を背景として、引続き堅調に推移しており、当該案件を推進できるIT人財やDX人財に対するニーズも力強く推移していることから、当社グループの事業活動も順調に推移しているものと認識しております。

そうした状況の中、当社グループは、コンサルティング・受託開発領域への積極投資による技術力の向上、また、技術者派遣においては、案件に係る商流の改善や技術者の技術向上を図ることで派遣単価の改善に努め、新規顧客を開拓することで技術者の稼働率の維持、改善に努めてまいりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、将来に向けた成長基盤の拡充と人財の育成を掲げ、「業界有数の人財数」、「業界有数の技術力」、「オリジナルの制度に基づく人財育成力」の醸成に努めており、従業員を財産と考える当社グループは、優秀な人財を獲得することに止まらず、既存従業員への還元・急激な物価上昇等への対応として平均給与を引き上げるなど、「人的資本経営」を重視することによるオーガニック成長を推進してまいりました。さらには、2023年における日鉄ソリューションズ株式会社及び株式会社アドバンスト・メディアとの資本業務提携の締結以降も、M&Aにより2024年２月１日付で株式会社TARAを連結子会社化、2025年４月１日付で株式会社HCフィナンシャル・アドバイザー（旧 株式会社ペアキャピタル）を連結子会社化するなど、インオーガニックでの非連続的な成長の実現にも積極的に取り組んでまいりました。さらには、2030年９月期を最終年とした”新”中長期経営方針を策定しております。

当連結会計年度において、2026年４月１日付で株式会社アセットコンサルティングフォースを存続会社、株式会社ヒューマンベース及び株式会社TARAを消滅会社とする吸収合併を実施しております。また、2026年７月１日付で介護・医療分野に特化した人材派遣事業等を営む株式会社ライフシールドの全株式を取得し、連結子会社化しております。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高9,460百万円（前期比5.8％増）、売上総利益2,557百万円（前期比5.9％減）となりました。また、販売費及び一般管理費においては、人的資本経営の推進に伴う採用活動費の増加及びM&A付随費用等により、営業利益は447百万円（前期比42.7％減）、経常利益は436百万円（前期比43.6％減）となりました。

また、特別損失として、取引先従業員による不正な取引に関連して400百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は116百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益398百万円）となりました（子会社別の売上高は、株式会社ブレーンナレッジシステムズ5,823百万円、株式会社アセットコンサルティングフォース1,651百万円、株式会社セイリング483百万円、株式会社ヒューマンベース174百万円、株式会社コスモピア658百万円、株式会社TARA42百万円、株式会社HCフィナンシャル・アドバイザー654百万円、株式会社ライフシールド381百万円となっております。なお、これらの売上高はグループ内取引の相殺消去前の数値であり、株式会社ヒューマンベース及び株式会社TARAについては2026年３月31日までの実績、株式会社アセットコンサルティングフォースについては同年４月１日付の吸収合併後の実績を含んでおります。）。

なお、当社グループは、従来「システムソリューションサービス事業」の単一セグメントでありましたが、2025年４月１日付で株式会社HCフィナンシャル・アドバイザーの株式を取得し連結子会社化したことに伴い、第２四半期連結会計期間より事業セグメントの管理区分を見直し、報告セグメントを「システムソリューションサービス事業」及び「経営コンサルティングサービス事業」の２区分に変更いたしました。

また、当連結会計年度に連結子会社化した株式会社ライフシールドの人材派遣事業等については、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」に区分しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（システムソリューションサービス事業）

当連結会計年度の業績は、売上高8,417百万円、セグメント利益582百万円となりました。

（経営コンサルティングサービス事業）

当連結会計年度の業績は、売上高661百万円、セグメント損失240百万円となりました。

（その他）

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に介護・医療分野に特化した人材派遣事業等を含んでおります。

当連結会計年度の業績は、売上高381百万円、セグメント利益7百万円となりました。

（２）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ626百万円減少し、3,868百万円（前連結会計年度末比13.9％減）となりました。売掛金の増加189百万円、敷金の増加100百万円、契約資産の増加75百万円、有形固定資産の増加55百万円があった一方で、現金及び預金の減少1,109百万円等により減少しております。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ459百万円減少し、2,505百万円（前連結会計年度末比15.5％減）となりました。借入れ返済に伴う長期借入金の減少216百万円、１年内返済予定の長期借入金の減少91百万円及び未払金の減少100百万円等により減少しております。

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ167百万円減少し、1,362百万円（前連結会計年度末比11.0％減少）となりました。利益剰余金の減少196百万円等により減少しております。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,109百万円減少し、307百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、411百万円の支出（前年同期は1,029百万円の収入）となりました。これは主に未払金の減少額293百万円、法人税等の支払額178百万円及び売上債権の増加額108百万円を計上したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、215百万円の支出（前年同期は896百万円の支出）となりました。これは主に敷金の差入による支出90百万円、有形固定資産の取得による支出78百万円、株式会社ライフシールドの取得に伴う連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出43百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、483百万円の支出（前年同期は281百万円の収入）となりました。これは主に短期借入れによる収入500百万円があった一方で、短期借入金の返済による支出500百万円、長期借入金の返済による支出400百万円、配当金の支払83百万円があったこと等によるものです。

（４）今後の見通し

当社グループは、長期ビジョン（10年後のありたい姿）である「技術力・規模ともにIT業界の首位グループ」を実現すべく、今後も継続して事業拡大に傾注してまいります。翌連結会計年度（2027年９月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高11,000百万円（前年同期比16.3％増）、営業利益470百万円（前年同期比4.9％増）、経常利益450百万円（前年同期比3.2％増）、親会社株主に帰属する当期純利益337百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失116百万円）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ国内の同業他社の適用動向等を鑑み、国際会計基準の適用について適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,417,293	307,355
売掛金	892,748	1,082,576
契約資産	86,679	162,106
商品	5,422	1,113
仕掛品	－	155
貯蔵品	108	116
その他	137,668	105,355
貸倒引当金	△13,062	△13,028
流動資産合計	2,526,857	1,645,749
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	196,195	253,630
減価償却累計額	△119,135	△134,474
建物附属設備（純額）	77,059	119,156
工具、器具及び備品	67,696	91,254
減価償却累計額	△38,956	△48,665
工具、器具及び備品（純額）	28,739	42,588
有形固定資産合計	105,799	161,744
無形固定資産		
のれん	1,283,323	1,318,205
その他	57,053	43,599
無形固定資産合計	1,340,377	1,361,805
投資その他の資産		
投資有価証券	89,670	90,011
敷金	127,954	228,494
繰延税金資産	211,493	304,506
その他	93,350	76,235
投資その他の資産合計	522,469	699,247
固定資産合計	1,968,646	2,222,797
資産合計	4,495,504	3,868,547

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,607	130,179
１年内返済予定の長期借入金	353,636	262,392
未払金	731,611	630,969
未払費用	119,717	101,734
未払法人税等	159,621	138,298
未払消費税等	144,915	148,730
賞与引当金	178,084	138,513
役員賞与引当金	18,726	－
その他	35,171	67,609
流動負債合計	1,848,091	1,618,428
固定負債		
長期借入金	789,843	573,143
退職給付に係る負債	167,537	184,228
資産除去債務	95,814	85,242
その他	63,828	44,900
固定負債合計	1,117,024	887,515
負債合計	2,965,115	2,505,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	193,661	193,661
資本剰余金	103,661	103,661
利益剰余金	1,718,363	1,522,183
自己株式	△520,426	△499,139
株主資本合計	1,495,259	1,320,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,665	10,762
その他の包括利益累計額合計	10,665	10,762
新株予約権	24,463	31,474
純資産合計	1,530,388	1,362,603
負債純資産合計	4,495,504	3,868,547

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,945,582	9,460,367
売上原価	6,228,261	6,902,966
売上総利益	2,717,321	2,557,401
販売費及び一般管理費	1,935,385	2,109,486
営業利益	781,935	447,914
営業外収益		
受取利息	1,192	2,082
受取配当金	2,348	2,860
為替差益	3,447	－
未払配当金除斥益	280	204
共済解約手当金	－	8,000
業務受託手数料	1,200	1,775
雑収入	1,493	2,434
営業外収益合計	9,961	17,357
営業外費用		
支払利息	11,148	16,932
為替差損	68	122
自己株式取得費用	2,199	－
株式報酬費用消滅損	1,746	11,161
雑損失	3,289	943
営業外費用合計	18,453	29,159
経常利益	773,443	436,113
特別損失		
固定資産除却損	12,167	6,171
投資有価証券評価損	77,061	－
貸倒損失	－	400,000
特別損失合計	89,228	406,171
税金等調整前当期純利益	684,215	29,942
法人税、住民税及び事業税	252,598	235,320
法人税等調整額	33,133	△88,452
法人税等合計	285,732	146,867
当期純利益又は当期純損失（△）	398,482	△116,925
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	398,482	△116,925

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期純利益又は当期純損失（△）	398,482	△116,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,087	97
その他の包括利益合計	50,087	97
包括利益	448,570	△116,828
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	448,570	△116,828

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	193,661	107,221	1,688,551	△616,813	1,372,619
当期変動額					
剰余金の配当	－	－	△84,562	－	△84,562
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	－	－	398,482	－	398,482
自己株式の取得	－	－	－	△220,013	△220,013
自己株式の消却	－	△287,515	－	287,515	－
自己株式の処分	－	△152	－	28,885	28,733
利益剰余金から資本剰余金への振替	－	284,107	△284,107	－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	－	－	－	－
当期変動額合計	－	△3,560	29,812	96,387	122,639
当期末残高	193,661	103,661	1,718,363	△520,426	1,495,259

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△39,422	△39,422	19,318	1,352,515
当期変動額				
剰余金の配当	－	－	－	△84,562
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	－	－	－	398,482
自己株式の取得	－	－	－	△220,013
自己株式の消却	－	－	－	－
自己株式の処分	－	－	－	28,733
利益剰余金から資本剰余金への振替	－	－	－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	50,087	50,087	5,145	55,233
当期変動額合計	50,087	50,087	5,145	177,873
当期末残高	10,665	10,665	24,463	1,530,388

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	193,661	103,661	1,718,363	△520,426	1,495,259
当期変動額					
剰余金の配当	－	－	△83,514	－	△83,514
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	－	－	△116,925	－	△116,925
自己株式の取得	－	－	－	△36	△36
自己株式の処分	－	4,260	－	21,323	25,584
資本剰余金から利益剰余金への振替	－	△4,260	4,260	－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	－	－	－	－
当期変動額合計	－	－	△196,179	21,286	△174,893
当期末残高	193,661	103,661	1,522,183	△499,139	1,320,366

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,665	10,665	24,463	1,530,388
当期変動額				
剰余金の配当	－	－	－	△83,514
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	－	－	－	△116,925
自己株式の取得	－	－	－	△36
自己株式の処分	－	－	－	25,584
資本剰余金から利益剰余金への振替	－	－	－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	97	97	7,010	7,107
当期変動額合計	97	97	7,010	△167,785
当期末残高	10,762	10,762	31,474	1,362,603

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	684,215	29,942
減価償却費	38,131	48,935
固定資産除却損	12,167	6,171
のれん償却額	133,732	179,124
株式報酬費用	11,606	16,121
賞与引当金の増減額（△は減少）	11,833	△40,685
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△412
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	7,200	16,690
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	18,726	△18,726
投資有価証券評価損益（△は益）	77,061	－
受取利息及び受取配当金	△3,540	△4,943
支払利息	11,216	17,232
売上債権の増減額（△は増加）	23,534	△108,843
商品の増減額（△は増加）	1,675	4,308
仕掛品の増減額（△は増加）	－	△155
貯蔵品の増減額（△は増加）	29	△7
営業債務の増減額（△は減少）	19,004	23,572
未払金の増減額（△は減少）	316,085	△293,193
未払費用の増減額（△は減少）	△19,296	△35,699
長期未払金の増減額（△は減少）	－	△18,927
その他の資産の増減額（△は増加）	17,533	△17,521
その他の負債の増減額（△は減少）	△707	△23,796
小計	1,360,210	△220,813
利息及び配当金の受取額	3,540	4,943
利息の支払額	△11,148	△16,932
法人税等の支払額	△322,987	△178,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,029,615	△411,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,737	△78,551
無形固定資産の取得による支出	△56,750	－
定期預金の払戻による収入	30,001	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△768,906	△43,609
事業譲受による支出	△90,000	－
差入保証金の回収による収入	1,893	467
敷金の差入による支出	△5,289	△90,161
敷金の回収による収入	－	5,298
長期前払費用の取得による支出	△399	－
資産除去債務の履行による支出	△161	△8,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△896,350	△215,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△275,300	△500,000
長期借入れによる収入	900,000	－
長期借入金の返済による支出	△289,649	△400,395
自己株式の取得による支出	△220,013	△36
配当金の支払額	△84,562	△83,250
新株予約権の発行による収入	1,037	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	281,512	△483,681
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	414,776	△1,109,938
現金及び現金同等物の期首残高	1,002,516	1,417,293
現金及び現金同等物の期末残高	1,417,293	307,355

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2025年12月23日の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式19,665株の処分を行い、当連結会計期間において自己株式が21,323千円減少しています。

この結果、当連結会計期間において利益剰余金が196,180千円減少、自己株式が21,286千円減少し、当連結会計期間末において資本剰余金が103,661千円、利益剰余金が1,522,183千円、自己株式が499,139千円となっております。

（表示方法の変更に関する注記）

（連結損益計算書関係）

前連結会計年度において、「営業外収益」の「雑収入」に含めておりました「業務受託手数料」（前連結会計年度1,200千円）については、重要性が高まったため、当連結会計年度においては区分掲記しております。

前連結会計年度において、「営業外費用」の「雑損失」に含めておりました「株式報酬費用消滅損」（前連結会計年度1,746千円）については、重要性が高まったため、当連結会計年度においては区分掲記しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社である当社の傘下において、各事業会社はそれぞれ独立した経営単位として戦略を立案し事業活動を展開しておりますが、当社グループの中核的事業につきましては当社が包括的・横断的に統括管理することとしております。

従って、当社グループでは、「システムソリューションサービス」及び「経営コンサルティングサービス」の２つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「システムソリューションサービス」は、連結子会社である（株）アセットコンサルティングフォース、（株）ブレーンナレッジシステムズ、（株）セイリング、（株）コスモピアにて大手システムインテグレーターや事業会社等の顧客に向けて、ITシステムのコンサルティング・企画提案から開発、保守運用までを一気通貫で提供するIT事業を行っております。

「経営コンサルティングサービス」は、主に連結子会社である（株）HCフィナンシャル・アドバイザーにて中小企業の事業承継や成長戦略の支援に特化し、全国規模のネットワークと豊富な案件情報を活かしたM&A仲介事業を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	連結損益計算書計上額（注）２
	システムソリューションサービス	経営コンサルティングサービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,166,837	778,745	8,945,582	－	8,945,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,600	－	3,600	△3,600	－
計	8,170,437	778,745	8,949,182	△3,600	8,945,582
セグメント利益	589,952	170,721	760,674	21,261	781,935
セグメント資産	3,609,801	537,354	4,147,156	348,347	4,495,504
セグメント負債	1,420,721	334,777	1,755,499	1,209,616	2,965,115
その他の項目					
減価償却費	16,829	8,265	25,094	13,036	38,131
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	60,036	－	60,036	13,490	73,526

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

(1)売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント利益の調整額は、全社収益758,630千円、のれん償却額△121,722千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△612,345千円、セグメント間取引消去△3,300千円が含まれております。

なお、全社収益は子会社からの経営指導料であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

(3)セグメント資産の調整額は、のれんの未償却残高1,193,667千円、各報告セグメントに配分していない全社資産479,796千円及びセグメント間取引消去△1,325,115千円であります。

(4)セグメント負債の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社負債2,534,732千円及びセグメント間取引消去△1,325,115千円であります。

(5)減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(6)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

２．セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	連結損益計算書計上額（注）３
	システムソリューションサービス	経営コンサルティングサービス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,417,243	661,455	9,078,699	381,668	－	9,460,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	91,641	－	91,641	－	△91,641	－
計	8,508,884	661,455	9,170,340	381,668	△91,641	9,460,367
セグメント利益又は損失（△）	582,310	△240,435	341,874	7,811	98,228	447,914
セグメント資産	3,289,260	355,517	3,644,778	409,407	△185,638	3,868,547
セグメント負債	1,283,318	319,143	1,602,461	251,689	651,794	2,505,944
その他の項目						
減価償却費	19,694	11,382	31,077	309	17,548	48,935
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	90,802	－	90,802	－	4,410	95,213

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護・医療分野に特化した人材派遣事業等を含んでおります。

２．調整額は、以下のとおりであります。

(1)売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント利益又は損失（△）の調整額は、全社収益913,718千円、のれん償却額△144,397千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△579,450千円、セグメント間取引消去△91,641千円が含まれております。

なお、全社収益は子会社からの経営指導料であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

(3)セグメント資産の調整額は、のれんの未償却残高1,263,275千円、各報告セグメントに配分していない全社資産507,129千円及びセグメント間取引消去△1,956,043千円であります。

(4)セグメント負債の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社負債2,607,837千円及びセグメント間取引消去△1,956,043千円であります。

(5)減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(6)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

４．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「システムソリューションサービス事業」の単一セグメントでありましたが、2025年４月１日付で株式会社HCフィナンシャル・アドバイザーの株式を取得し連結子会社化したことに伴い、第２四半期連結会計期間より事業セグメントの管理区分を見直し、報告セグメントを「システムソリューションサービス事業」及び「経営コンサルティングサービス事業」の２区分に変更いたしました。

これに伴い、前連結会計年度においては単一セグメントであったためセグメント情報の記載を省略しておりましたが、比較情報として、変更後の報告セグメントの区分に基づき前連結会計年度のセグメント情報を作成しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

１．製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

１．製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	システムソリューションサービス	経営コンサルティングサービス	計			
当期償却額	7,000	5,010	12,010	－	121,722	133,732
当期末残高	4,666	84,990	89,656	－	1,193,667	1,283,323

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	システムソリューションサービス	経営コンサルティングサービス	計			
当期償却額	4,666	30,060	34,726	－	144,397	179,124
当期末残高	－	54,930	54,930	－	1,263,275	1,318,205

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（１株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	486.86円	427.63円
１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失（△）	125.96円	△37.63円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	125.91円	－円

（注）当連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

１．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	398,482	△116,925
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	398,482	△116,925
普通株式の期中平均株式数（株）	3,163,574	3,106,857
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	－	－
（うち支払利息（税額相当額控除後）（千円））	(－)	(－)
（うち事務手数料（税額相当額控除後）（千円））	(－)	(－)
普通株式増加数（株）	1,284	17,631
（うち転換社債（株））	(－)	(－)
（うち新株予約権（株））	(1,284)	(17,631)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第５回ストック・オプション（株式の数34,678株）、第６回ストック・オプション（株式の数59,726株）、第７回ストック・オプション（株式の数18,166株）及び第８回ストック・オプション（株式の数3,663株）	第７回ストック・オプション（株式の数18,166株）

（注）2025年１月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益を算定しております。

（重要な後発事象の注記）

（連結子会社における事業の一部譲渡）

当社の連結子会社である株式会社ブレーンナレッジシステムズは、事業ポートフォリオの見直し及び経営資源の最適配分を目的として、同社が営む事業の一部を第三者に譲渡いたしました。

事業譲渡の概要

(1) 譲渡対象事業：IT人材サービス事業の一部
(2) 事業譲渡日：2026年10月1日
(3) 譲渡対価：229百万円（税抜）
(4) 譲渡先の概要：当事者間の守秘義務と譲渡先との協議により非開示とさせていただきます。なお、当社と譲渡先との間には、資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。